



2021年4月16日

日本鉄道労働組合連合会

第76回JR連合国会議員懇談会

**感染拡大は第4波！JR産業の危機は一層深刻に！
支援にむけた課題を共有し、連携強化を確認！**



4月14日、第76回JR連合国会議員懇談会を開催した。榛葉賀津也会長（参・静岡）をはじめとする議員懇所属議員から7名が出席し、各単組とはウェブでつなぐ形式とした。JR産業の危機的状況と経営支援の必要性を確認し、今国会会期中に支援にむけた関係省庁への要請実現に取り組むよう意思統一を図った。

冒頭、榛葉会長は、「公共交通は盛り返していかなければならない局面だったが、再び感染拡大の状況に。我々議員も支援の実現にしっかりと取り組むので、ぜひ現場の皆さんも一緒にこの苦難を乗り越えていきましょう」と述べた。続いて、荻山市朗JR連合会長は「4月末にはJR各社の決算も公表され、JR全体で1兆円規模の赤字決算となるだろう。今次春季生活闘争は大変厳しい交渉となった。JR産業は、国の政策で移動が制限され大きな影響を受けているので、相応の支援を引き続き求めていく。固定資産税の減免や雇用調整助成金の特例措置の延長や、抜本的な需要回復にむけた喚起策が必要不可欠。同様に影響を受けている航空や観光の仲間とも共闘し、要求実現に取り組んでいく。安心して公共交通をご利用いただけるよう継続した支援をお願いしたい」と政府等に対する働きかけを求めた。ウェブ形式で出席したJR各単組代表者からは、各社の厳しい経営状況や、コロナ禍で離職が増加している傾向、公共交通利用の安全性の発信の必要性、雇調成特例措置延長の必要性など、切実な思いが述べられた。



協議事項では、経営支援や移動及び観光に対する不安意識の払拭、段階的な移動需要の創出と回復につながる助成制度の構築にむけた要請行動について確認するとともに、JR二島・貨物経営自立実現PTの今後の進め方等を確認した。引き続き議員懇所属議員との連携を強化し、JR産業が抱える課題の解決にむけて取り組んでいく。